

平成23年度 第2回当別町地域公共交通活性化協議会 議事録

日時：平成23年9月22日 15:00～15:30

場所：当別町役場第二庁舎 2階会議室

出席委員 17名、欠席委員 5名、オブザーバー 3名、随行者 1名

1 開会（司会：増輪事務局長）

2 会長挨拶（近藤会長）

当別町コミュニティバスは平成18年度からの実証運行を経て、今年4月から本格運行を開始した。

本日は、平成23年度のバス事業の中間報告として4月から8月までの実績とその他事業の取り組みについてご報告したのち、議題では、西当別・あいの里線と金沢線の一部統合についてと市街地循環線のダイヤ及び路線の変更についてご審議いただき、活発な議論をお願いする。

また、前回の協議会后、北海道医療大学で人事異動がありましたので、後程ご紹介させていただきます。

3 委嘱状の交付

新たな委員 北海道医療大学 総務企画課長 三浦清志氏に委嘱状を交付する予定であったが本日欠席のため、次回の協議会で改めて紹介する。

また、第1回協議会に新たな委員となったが、欠席されていた委員を改めて紹介する。

北海道開発局札幌開発建設部札幌道路事務所第3工務課長 本間 定男 さま

4 報告

(1) 当別ふれあいバス 平成23年度8月までの実績について

事務局（熊谷企画課長）

平成23年度これまでの実績についてご報告申し上げます。

資料1-1、1-2、1-3、1-4をご用意ください。

資料1-1表が大きく二つに分かれており、上段が乗降客数の実績となっている。

8月実績9,377人、4月から8月の実績は55,478人とお客様にご利用いただいている。

収入については下の段となっている。8月実績で655,200円、4月から8月の累計は3,970,200円となっている。

推移については、資料1-2の2枚目月別乗降客データ（累計）をご覧ください。

今年度は55,478人、昨年度は57,646人と約2,000人ほど減少している。特に大きな部分として昨年度と比較すると4月だけで約1,700人減少している。

昨年12月にダイヤ改正をしていることを含むと4月に何か大きな所以があったと捕まえているが、まだ要因が見つかっていない。

資料1-3収入の部分だが、利用者の減少と同様運賃収入も減少している。

平成23年度これまでの収入3,970,200円だが、平成22年度4月から8月までで4,421,500円

と約11%の減となっている。こちら4月分の収入が16%減と大きい。しかし、明るい兆しとして8月分だけで見ると昨年から比して101%と若干の伸びがある。

4月から8月で見ると、収入も乗込みも減っているということで注視しなければならないと思っている。

資料1 - 4 昨年同様夏休み限定の子ども定期券を販売した。昨年度は42枚の販売であったが、今年度は半数近い26枚にとどまっている。こちらについても、データが集まったばかりで、深く検証はできていないが、こちらについても全体の乗り込み同様検証していきたい。

以上。

質疑なし

承認

(2)「環境まちづくりパートナーズ基本協定」の更新について

事務局（熊谷企画課長）

資料2 - 1、2 - 2をご用意ください。

資料2 - 1 植物由来てんぷら油を精製して原料とした燃料BDFを使うことによってCO2を排出しない。このカーボンニュートラルによって、削減できたCO2を金銭取引できるのが、オフセット・クレジットという制度。このオフセット・クレジットを活用してコミュニティバスのCO2排出削減量を全量、ANAに買ってもらえる契約(協定)を去年したところである。この契約(協定)内容を若干変更し今年度も継続し、1年間契約を結べることになったことを報告する。

しかし、クレジットの売買と環境教育に対する講師派遣の部分は獲得できなかった。

ロゴの使用については引き続き活用できることとなった。

この協定書の写しを資料2 - 2としておりますので、ご覧いただきたい。1年間継続してANAと協定することができたこととロゴを使えることになったことをご報告する。

以上。

質疑なし

承認

(3) 利用促進事業の実施について

事務局（熊谷企画課長）

資料3 - 1をご覧ください。

今年もバスまつりを開催させていただく。

10月2日当別駅前南口駐車場を会場として開催する。

昨年同様、まきバスやファイターズ号が展示される。これらに合わせてJR北海道バスのボンネットバスやバスでラーメンが食せるバスラーメンを展示し、下段モーターズのご配慮により電気自動車日産リーフを展示させていただく。

また、運輸局のご配慮により心のバリアフリー教室を実施してもらい住民に啓発を図る。

具体的な内容については、来週中ごろに新聞折り込みによりチラシを配布する予定ですので、ご覧いただきご近所や関係の方々に広く周知いただきたい。

同日開催で、さわやか駅伝やふれあい倉庫での朝市も開催するので、併せてお知らせいただければありがたい。

資料3 - 2をご覧ください。

バスまつりに合わせながら利用促進を兼ねて、18日間無料でバスに乗ってもらうキャンペーンを張ることにした。

生活の一部としてバスを使っていただくことを理解いただくことが大事と考えバスまつりを挟んだ18日間のキャンペーンをはらせていただいた。

併せて、クイズラリーも並行して開催させていただく。

8か所クイズポイントを設けて景品が当たるようなキャンペーンを実施する。

抽選で10名に当別町新産業活性化センターが行っている認証制度で認証された商品を中心とした当別おいしいものギフトを差し上げることとなっている。

以上。

質疑なし

承認

4 議事

(1) 西当別・あいの里線と金沢線の一部統合について

事務局（熊谷企画課長）

西当別・あいの里線と金沢線の一部統合について説明する。

前回の会議でご説明しているところだが、国交省の補助金を受けるにあたって、西当別・あいの里線と金沢線を統合することにより、対象要件を満たしやすくなるため、検討させていただくと申ししていた。また、統合の時期については、12月の路線・ダイヤ改正にあわせてと申ししていたが、幹線の補助要件として、乗り込み数があり、12月からよりも10月からの方が乗り込み数が増え幹線と認めてもらいやすくなることから、10月1日から統合させていただきたい。

統合する便については、資料4 - 1のとおり金沢発8便とあいの里発6便を統合する。

コミュニティバスは1回1路線200円であり、金沢線、あいの里線それぞれ200円かかっていたものが、これからは1路線となり200円となる。

実際はこの区間を現金で利用されている方はおらず、応援券や回数券で利用されている方が、現金で利用されたと仮定したときに97,000円程度となる。

97,000円程度の減額と数十万円の補助金の可能性を比較すると補助金の方が有利と判断させていただいたため、10月1日からの統合とさせていただきたい。

統合後の時刻についても資料4 - 2に掲載しているので、ご高覧いただきたい。

以上。

質疑なし

提案どおり決定

(2) 市街地循環線のダイヤ及び路線の変更について

事務局（熊谷企画課長）

資料5 - 1をご用意ください。

市街地循環線のダイヤ及び路線の変更について説明する。

変更前、変更後とあるが、バス停番号27のバス停を路線沿線に設置し、28、29を撤去するものである。

また、下段モータースの近くのバス停番号15、14の箇所、15から14に走る場合交差点の形状から右折しづらく時間もかかることから、信号のある交差点を右折するように路線を微調整させていただきたい。14から15に走る場合は現状のままとする。

路線変更に伴ってダイヤについても、微調整をさせていただいた。便数の変更はなく、始発時間も大きく変わることはない。

変更の部分の例として、平日の第6便改正前16:30が改正後16:35と5分程度変更させていただくという微調整となる。

以上ご承認いただきたくご審議いただきたい。

質疑なし

提案どおり決定。

事務局（熊谷企画課長）補足説明。

ダイヤ改正については、12月1日からとさせていただきたい。

また、この改正によって地域内フィーダー系統計画も、変更させていただきたい。

会長

ただ今事務局から補足説明がありましたが、この件についても、併せて決定とさせていただく。

(3) 今後のスケジュールについて

事務局（熊谷企画課長）

資料6をご覧ください。

本日9月22日第2回協議会が開催された。資料には載っていないが、10月1日に先ほどご承認いただいた路線の統合を行う。10月2日にはバスまつりを実施。12月1日には承認をいただいたダイヤ改正を実施する。年末年始は年末年始運行を実施する。協議会のスケジュールとしては、来年3月まで会議等を行う予定はない。

質疑なし

提案どおり決定。

7 その他

事務局（熊谷企画課長）

9月20日にスウェーデンヒルズ町内会からアンケートの結果と要望書の提出があった。

アンケートの設問、配布数、回収率などが不明であったため、今回のダイヤ改正には反映させてい

ない。その点をご留意いただきたい。

しかしながら、皆様のご意見は大事なものとするので、委員の皆様にも地域や団体活動などの中での意見を吸い上げていただけると幸甚と考える。

会長

地域の要望として、出てきたようだが、利用者の皆様方の要望ということであれば、尊重し取り組んでいくという考えである。必要なものについては、取り組む姿勢で行きたいが、予算も関係するし、参加事業者のご意見もあるので、参加事業者との協議も含めて検討しなければならない。利用者の意見なので、できるものは尊重しなければ、ならないと思っている。

具体的なものができたら、皆様にご審議いただくので、よろしく願います。

8 閉会（近藤会長）